

県下一斉街頭PR活動を実施 ～神奈川農業への理解と、安全安心な県産農畜産物をPR～

JA グループ神奈川は1月28日、県下5か所（桜木町駅、武蔵溝ノ口駅、JA 湘南直売所あさつゆ広場、小田原駅、橋本駅）で一斉街頭 PR 活動を行った。一般消費者に向け、県内農業への理解と県産農畜産物およびJA直売所の周知を促進することが狙い。

JR 桜木町駅前には県下4農協（JA よこすか葉山、三浦市農協、JA はだの、JA 県央愛川）、県中央会と各連合会、県情報センターなど関係者40名が集まり、「よい食プロジェクト」やJA直売所のチラシとともに三浦半島産大根2,000本・キャベツ1,000個を配った。

県中央会の長嶋喜満副会長は、「農協改革が進む中で、消費者に神奈川の安全安心な農産物についてご理解いただくため、JAグループ神奈川の役割について理解を求めていこう」と、配布前に参加者に呼び掛けた。三浦市農協出口吉男組合長は、「大根やキャベツの市場価格は非常に安い。この街頭PRを機会に、消費者に旬の野菜をたくさん食べていただき、生産者へ還元できれば」と期待をこめた。

街頭PRに先立ち、TVK情報番組「ありがとッ」に出口組合長と同局のJAグループ神奈川提供番組「かながわ旬菜ナビ」リポーターの戸室穂美さんが生出演し、告知を行った。前日に三浦市農協



チラシと大根を手渡す長嶋副会長(右)、戸室さん(中央)、出口組合長(左)



三浦半島産大根 2,000 本・キャベツ 1,000 個を配布した

や中央会職員らと配布用大根の収穫を手伝った戸室さんは、「神奈川に、こんなに美味しいものがあることをもっと知っていただきたい」と話した。

番組を観てやって来たという女性は、「農協の直売所で買う野菜はいつも新鮮。これからもJAグループを応援します」と、笑顔で大根を受け取った。



「三浦半島産の新鮮な野菜です」と、桜木町駅前で呼び掛けた